

平成28年度

予算編成方針



企画財政部 財政課



財政の健全性なくして、
市民福祉の向上なし！

『財政の健全性』の確保
を説く、しっかり者。

いばら騎士レッド ibara-knight-red



今のサービスの充実と、
将来の発展のために
投資を！

より豊かな茨木市を
追求する、熱き男。

いばら騎士オレンジ ibara-knight-orange



みんな 税の使い道を
一緒に考えていこうね！

見習い中の初級騎士で
レッドに憧れる、勉強熱心
なハイテンションガール。

いばら騎士グリーン ibara-knight-green



このご時世、そんな
サービスに税金使う必
要、ほんまにあるん？

歯に衣着せず
行政サービスを語る、
クールな女性。

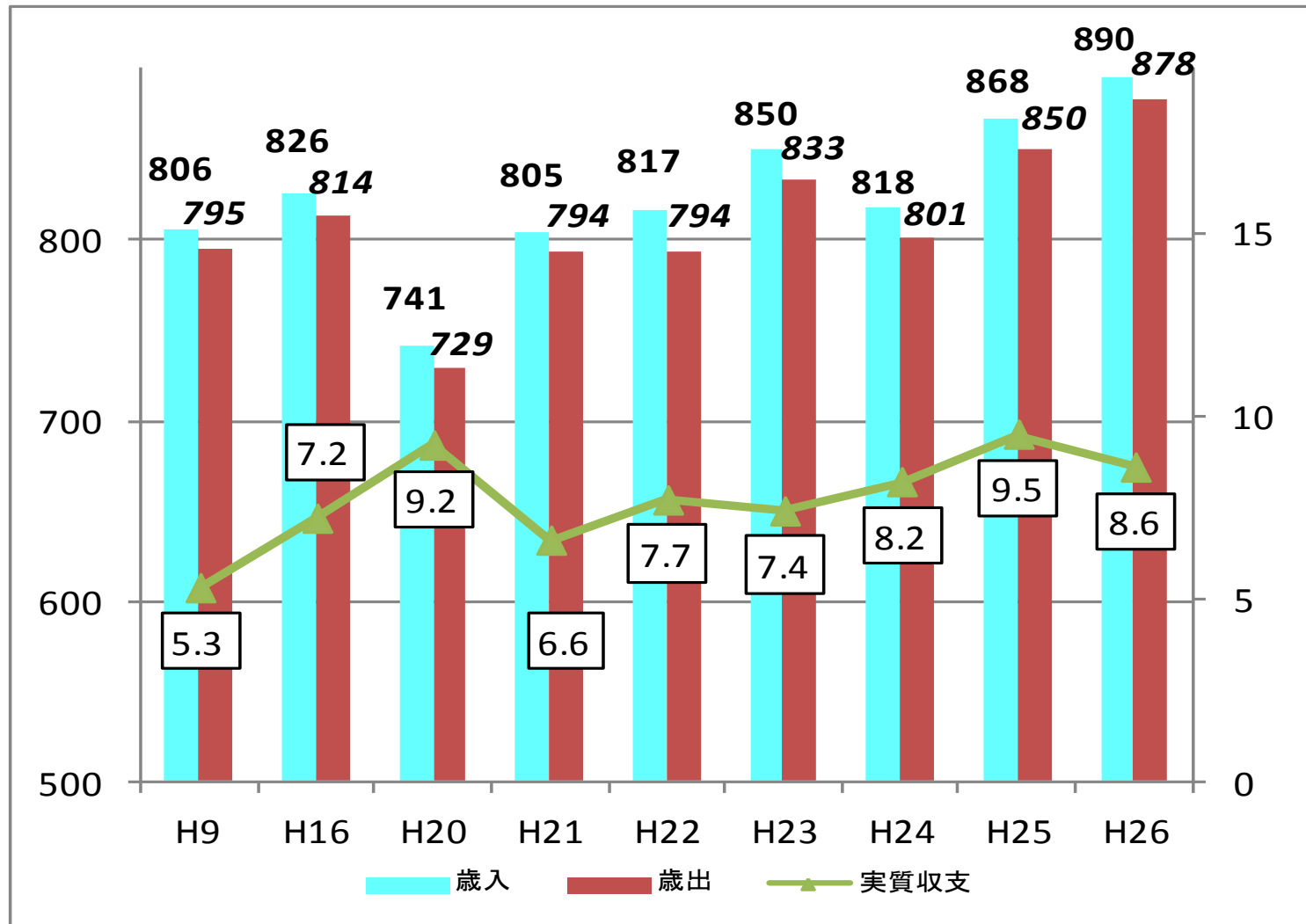
いばら騎士ブルー ibara-knight-blue

1 茨木市の財政状況

厳しい財政環境の中、事業の見直し等により
財政の健全性の確保に努めているが・・・

財政規模の推移 (一般会計ベース決算)

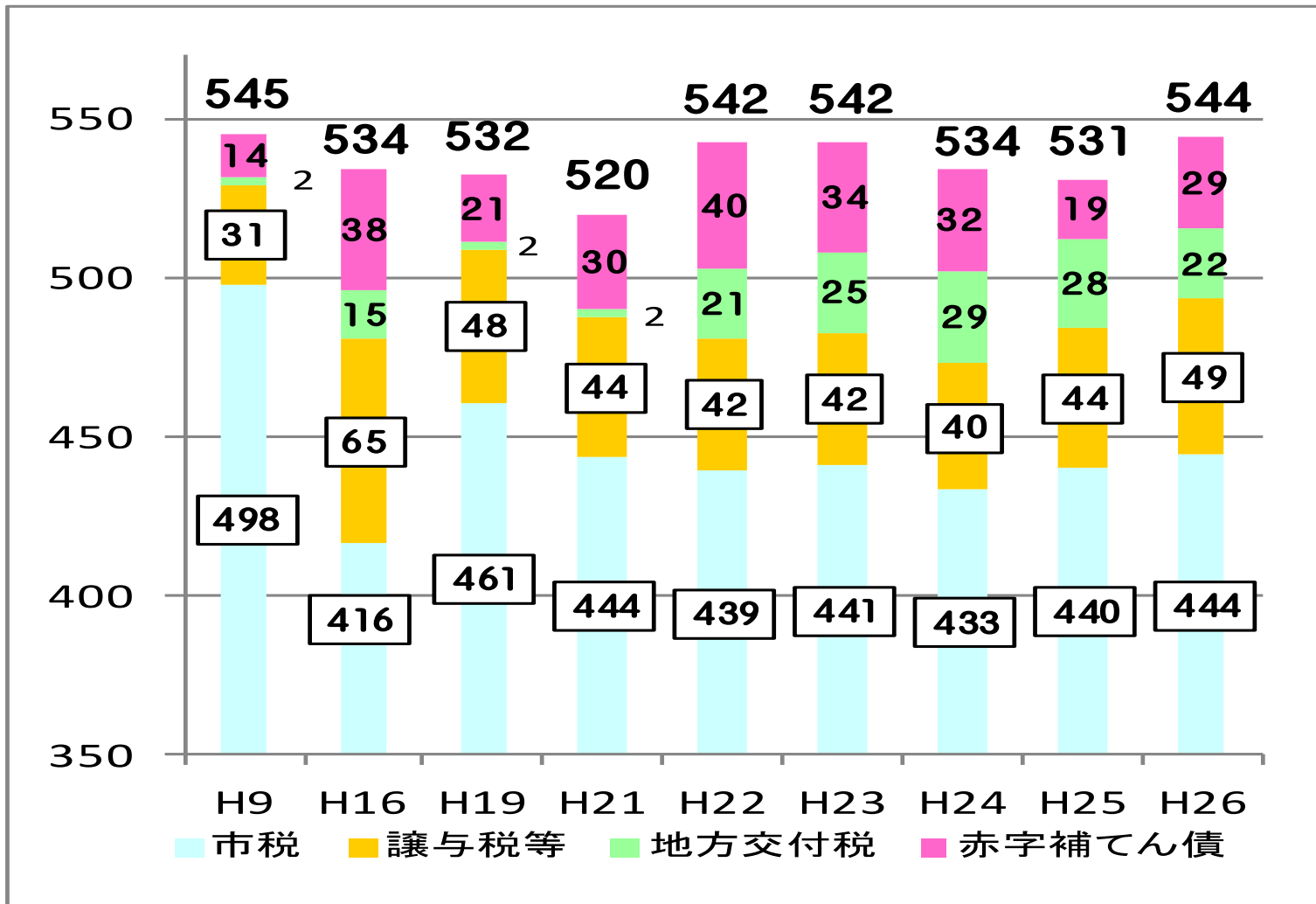
億円



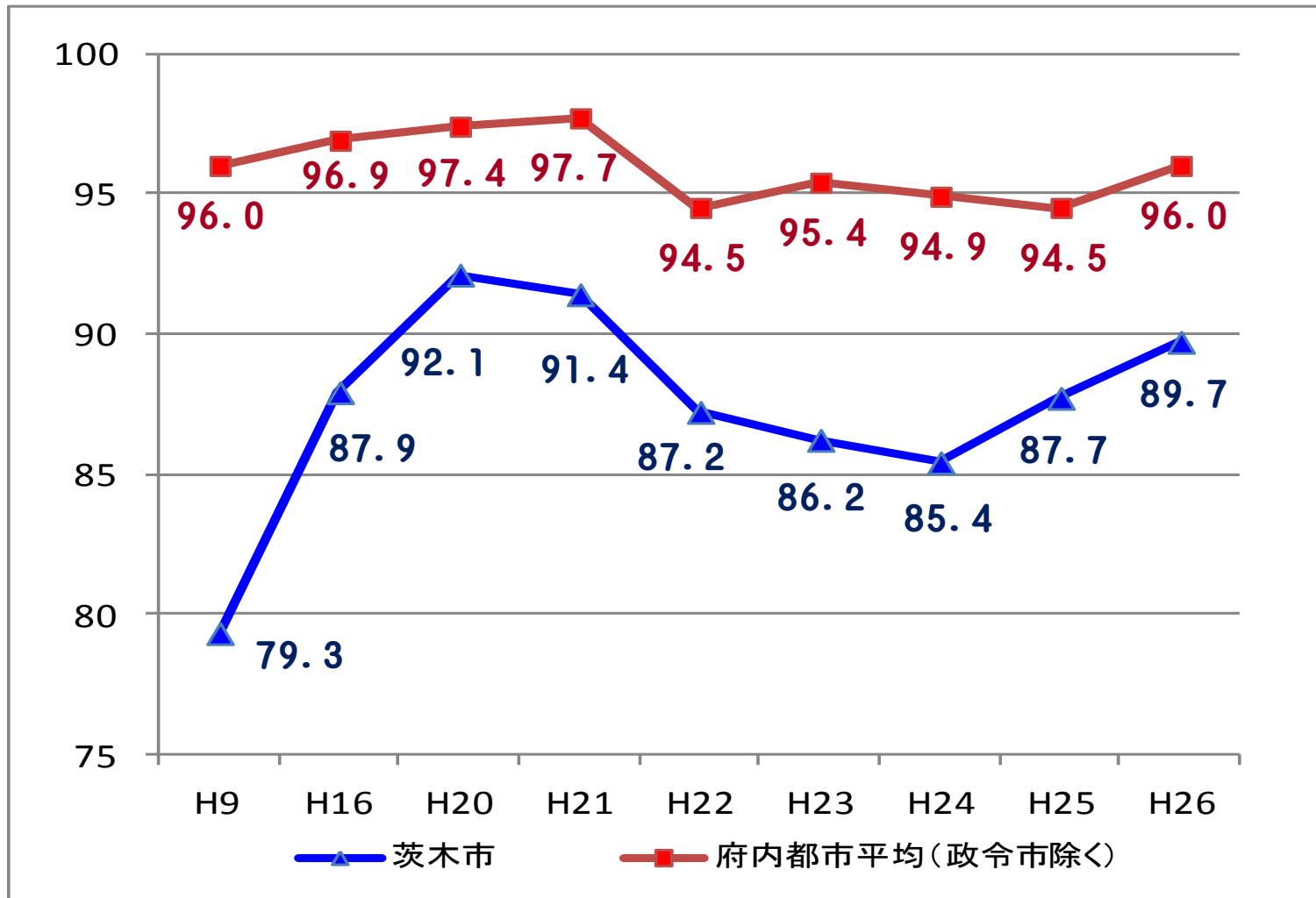
※H16・H26は借換債(H16:59.3億円、H26:19.1億円)を含む

税等一般財源の推移 (一般会計ベース決算)

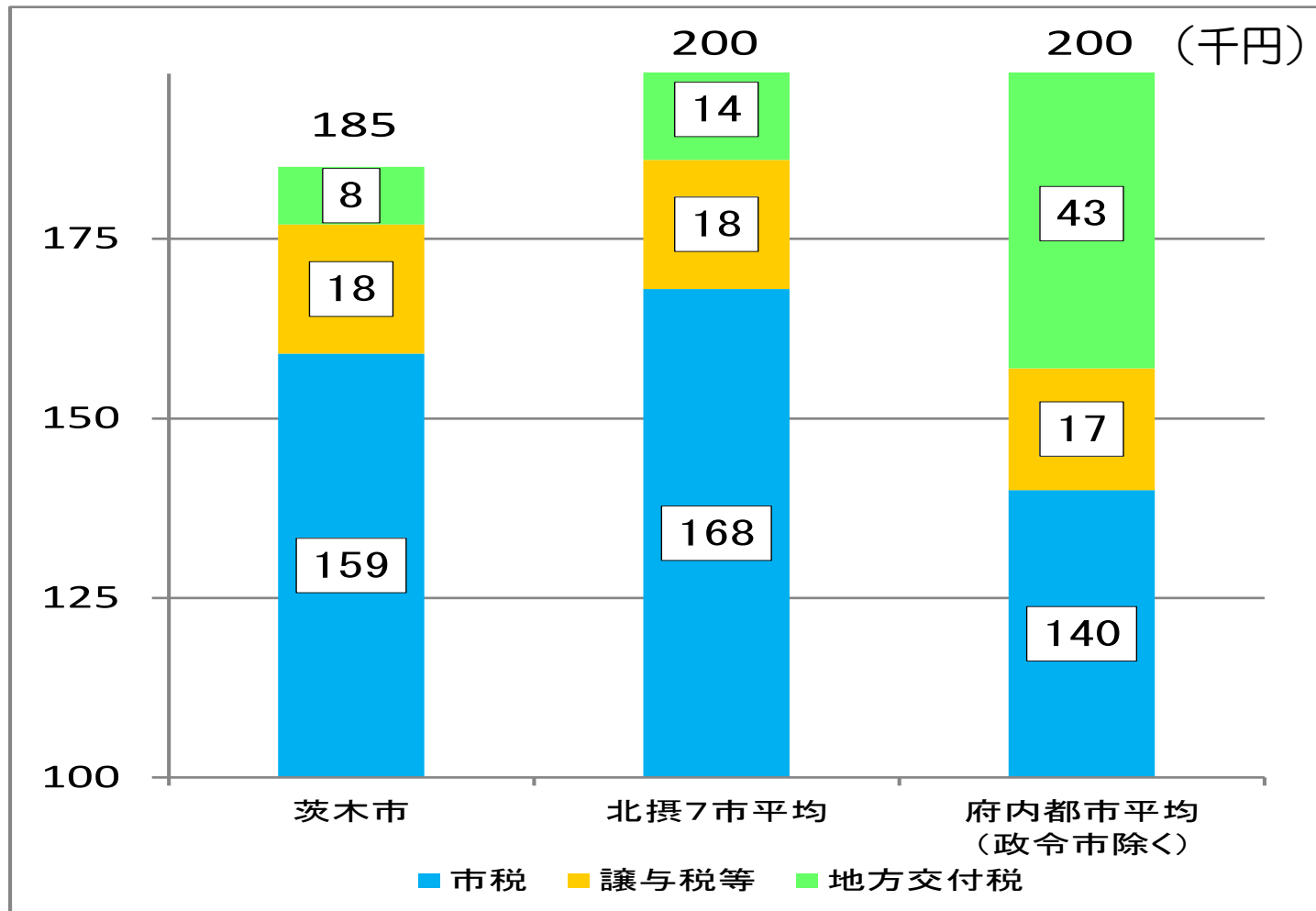
億円



経常収支比率の推移



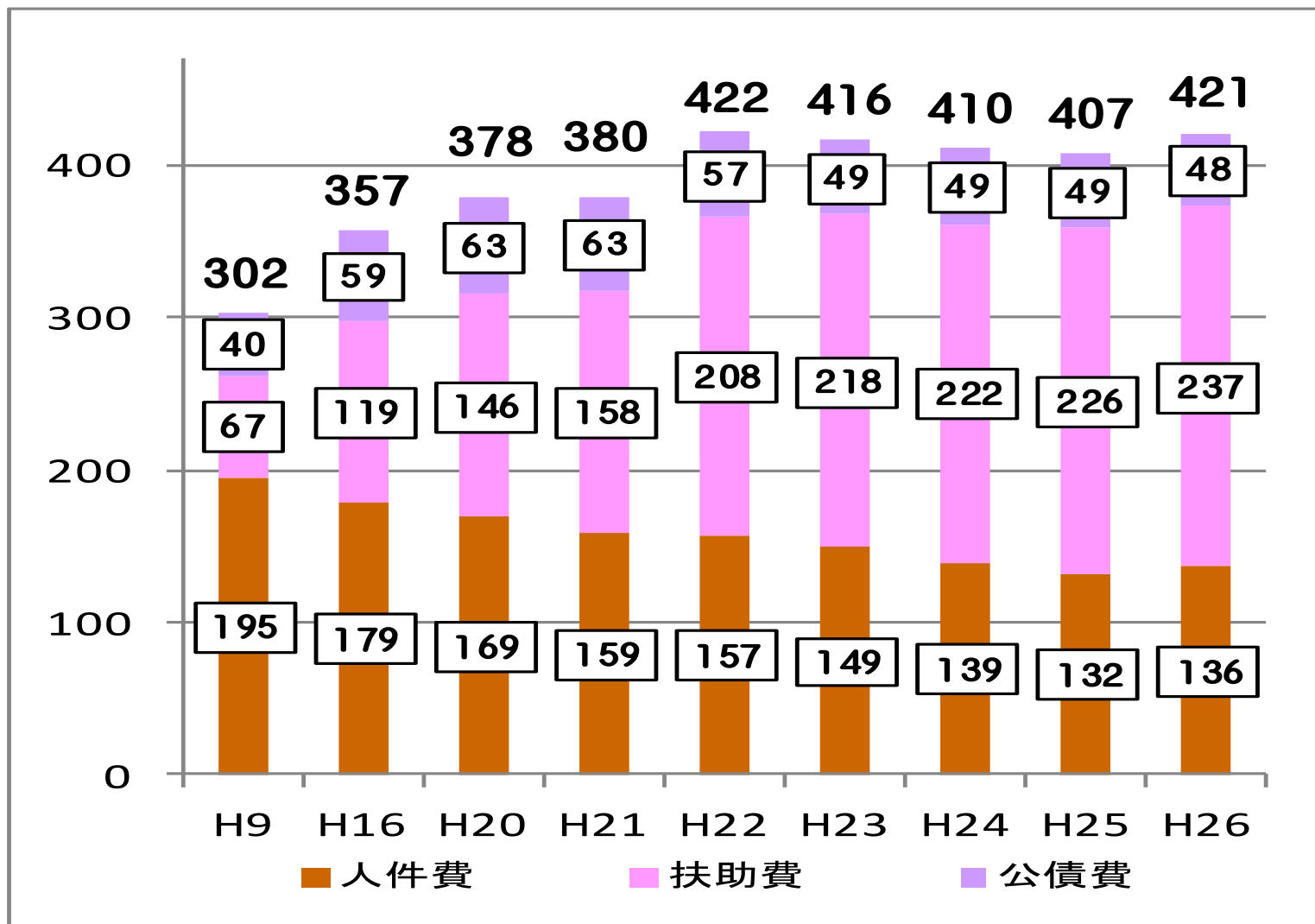
税等一般財源比較 (市民1人あたり)



※平成26年度決算ベース (臨時財政対策債除く)

義務的経費の推移 (一般会計ベース決算)

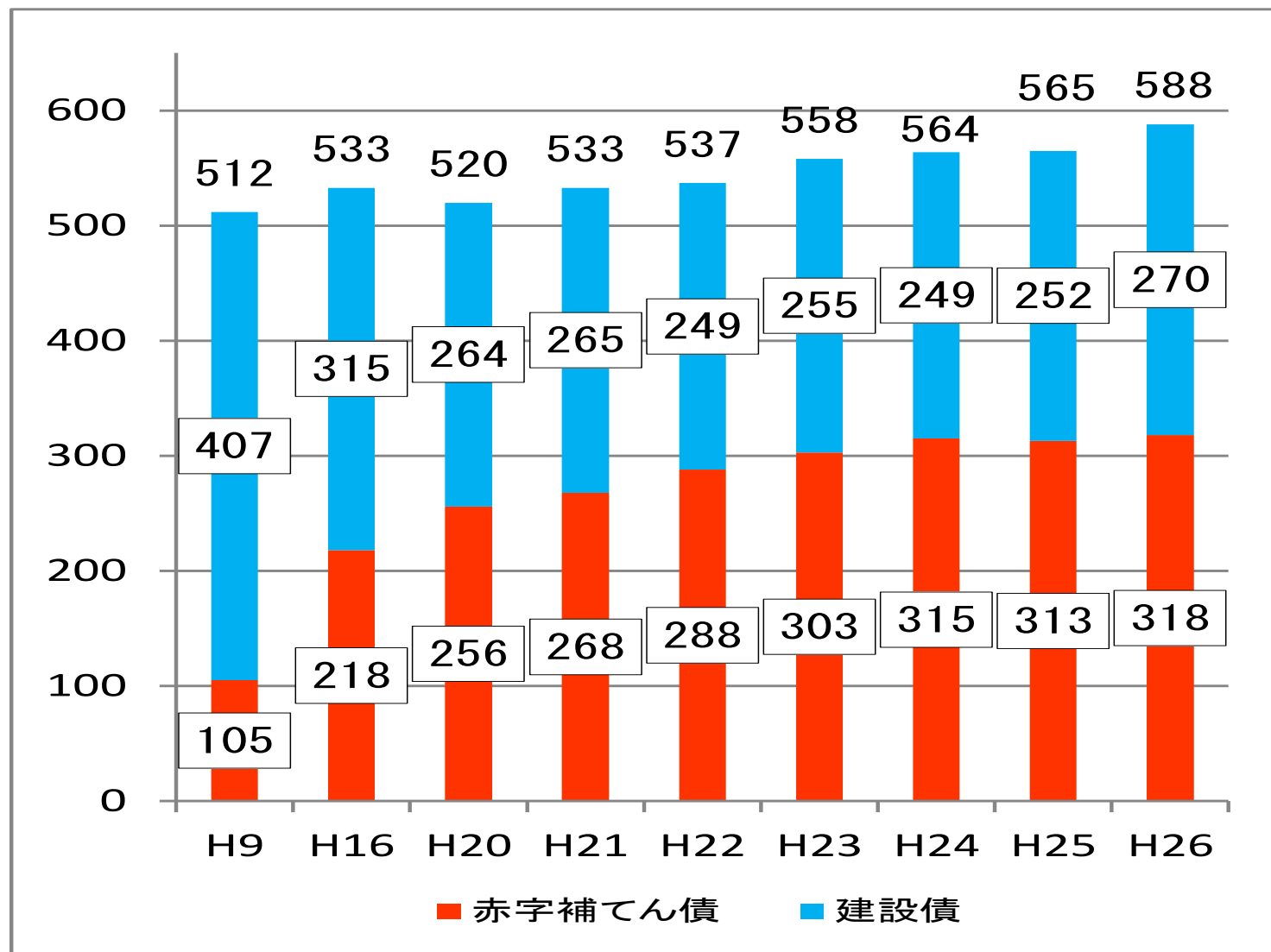
億円



※H16・H26の「公債費」は借換債を除く

市債残高の推移

億円



2 財政計画

**将来にわたり行政の使命を果たすための
健全な財政運営に向けた取組み**

(1) 今後の財政見通し

**来年度から収支の均衡が崩れ、
財源不足が累積・・・**

1 財政収支見通し

【取組前】

現行制度による人口推計等を基本とした一般会計の見通し

(単位:億円)

A 中長期財政見通し		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度
経常事業にかか る国・府の補助 金や諸収入な ど	①歳入	799	807	807	812	814	814	814	819	818
	(1)市税	444	452	449	456	463	459	465	471	465
	(2)譲与税・交付金	62	65	75	75	75	75	75	75	75
	(3)地方交付税	18	16	19	16	13	18	16	12	18
	(4)市債(臨時財政対策債)	28	24	13	13	11	10	5	8	7
	(5)その他	247	250	251	252	252	252	253	253	253
経常事業	②歳出	762	771	778	779	780	780	780	783	777
生活保護など の扶助費や国 保等特別会 計への繰出金 など	(1)人件費	140	139	142	141	143	143	143	145	144
	(2)社会福祉経費	337	343	345	346	350	353	354	356	358
	(3)公債費	49	49	50	50	50	51	50	49	43
	(4)その他	236	240	241	242	237	233	233	233	232
物品購入など の物件費や団 体等への補 助金など	A 収支 ①-②	37	36	29	33	34	34	34	36	41

30~40億円の黒字で推移！！

A 【経常事業】

少子高齢化の進展等により、市税の伸びを社会福祉経費の伸びが上回る状況の中、臨財債の逡減に伴う公債費の減や一定の交付税の交付を見込むことにより、収支は30~40億円(黒字)で推移する。

(単位: 億円)

A 中長期財政見通し		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度
経常事業	A 収支 ①-②	37	36	29	33	34	34	34	36	41

B 政策事業		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度
政策事業	③ハード事業	20	20	20	20	20	20	20	20	20
	市債	13	13	13	13	13	13	13	13	13
	一般財源	4	4	4	4	4	4	4	4	4
	④ソフト事業	8	8	8	8	8	8	8	8	8
	一般財源	6	6	6	6	6	6	6	6	6
	⑤基金積立	6	6	6	6	6	6	6	6	4
	一般財源	6	6	6	6	6	6	6	4	4
	⑥主要プロジェクト事業	39	52	11	10	11	4	1	16	30
	市債	17	16	3	5	6	2	0	7	16
	一般財源	5	11	3	2	3	2	1	3	6
事業費 ③+④+⑤+⑥		73	86	45	44	45	38	35	48	62
市債		30	29	16	18	19	15	13	20	29
B 一般財源		21	27	19	18	19	18	17	17	20

多額の市債
を活用！！H28~29年度
に集中！！

C 公共施設等の老朽化対策費		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度
公共施設等の 老朽化対策費	⑦事業費	20	20	20	20	20	20	20	20	20
	市債	7	7	7	7	7	7	7	7	7
	C 一般財源	11	11	11	11	11	11	11	11	11

B【政策事業】

平成28~29年度は、多額の財源が必要な（仮称）JR総持寺駅周辺整備、JR茨木駅構内の整備等の主要プロジェクトが集中するため、市債の活用が必要となる。

C【公共施設等の老朽化対策】

公共施設等の老朽化対策費として、長寿命化を基本に財政負担を平準化した一定の財源を確保する。

(単位:億円)

D 中長期財政見通し		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度
政策事業により 経常化する経費	D ₁ ソフト事業の新規・拡充経費	5	7	9	11	13	15	17	19	21
	D ₂ 公債費	1	2	5	7	10	12	14	16	18
D 政策事業の経常化分 合計		6	9	14	18	23	27	31	35	39



総収支が悪化

E 総収支 A - B - C - D	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度
	▲ 1	▲ 11	▲ 15	▲ 14	▲ 19	▲ 22	▲ 25	▲ 27	▲ 29

何も手立てを講じなければ、28年度には収支不足に陥り、赤字が累積していく...

D 【政策事業により経常化する経費】

市民サービスの充実を図る経常化する政策事業や、主要プロジェクトの実施等により発行する市債の償還費が積み重なり、後年度に負担が重くのしかかる。

2 財政計画との比較

【財政計画（平成26年10月）】

(単位: 億円)

B 中長期財政見通し		27年度	28年度	29年度	30年度	...	36年度
政策事業	③ハード事業(一般財源)	4	4	4	4	...	4
	④ソフト事業(一般財源)	6	6	6	6	...	6
	⑤基金積立(一般財源)	6	6	6	6	...	4
	⑥主要プロジェクト事業(一般財源)	11	6	9	4	...	6
	B ③+④+⑤+⑥(一般財源)	27	22	25	20	...	20

【予算編成方針（平成27年10月）】

(単位: 億円)

27年度	28年度	29年度	30年度	...	36年度
2	4	4	4	...	4
10	6	6	6	...	6
3	6	6	6	...	4
12	5	11	3	...	6
27	21	27	19	...	20

D

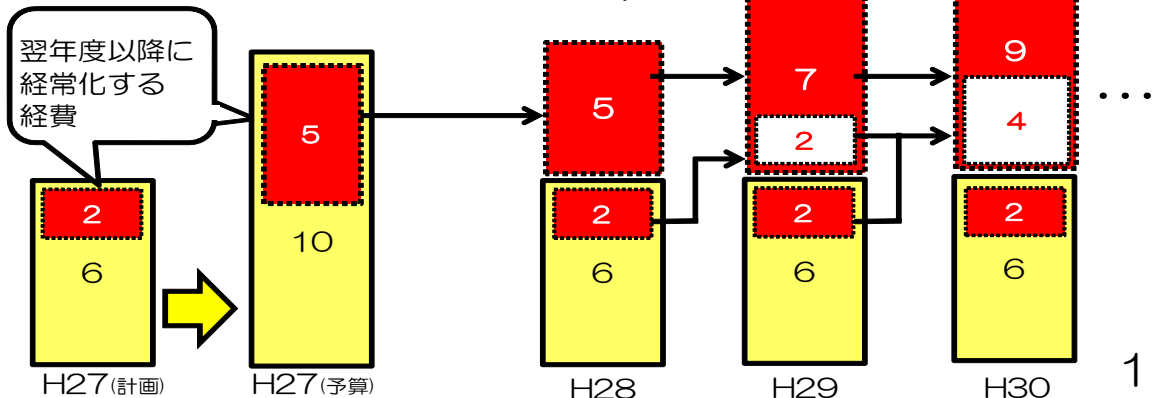
政策事業により 経常化する経費		27年度	28年度	29年度	30年度	...	36年度
D ₁ ソフト事業の新規・拡充経費		0	2	4	6	...	18
D ₂ 公債費		1	2	3	6	...	19

0	5	7	9	...	21
0	1	2	5	...	18

財政計画を大幅に上回る額
(2億円 → 5億円)が経常化!

政策事業の実施により
経常経費が累積!

ソフト事業：毎年6億円
(うち経常化する経費2億円)
を想定



【財政計画（平成26年10月）】

【予算編成方針（平成27年10月）】

(単位:億円)

(単位:億円)

E	中長期財政見通し	(単位:億円)					
		27年度	28年度	29年度	30年度	...	36年度
総収支	$A - B - C - D_1 - D_2$	1	1	▲6	▲9	...	▲19



		(単位:億円)					
		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	36年度
		0	▲1	▲11	▲15	...	▲29

経常収支の減少(悪化)に加え、ソフト事業の経常化する経費が増加したことから、収支不足となる時期が平成28年度に前倒しとなり、その赤字額も大幅に増加！！

何も取組まなければ
平成28年度から赤字となり
どんどん増えてくよ！！
政策事業により経常化する
経費が原因みたい・・・
何か手立てを講じなきゃ
いけないね！！



(2) 将来を見据えた取組み

**将来にわたる財政の健全性の確保に
向けて！！**

財政運営の基本原則

① 柔軟な財政構造の保持

経常化する経費の累積による財政構造の硬直化を防ぐため、新規・拡充事業(ビルド)の財源は、既存事業の制度の見直し(スクラップ)により創出

具体的な取組

★ビルド&スクラップの実践による経常事業の見直し

② 将来への負担の抑制

市債の借り過ぎは、後年度の公債費負担を増加させる要因となるため、将来へ負担を先送りし過ぎないように、適切に市債を発行

具体的な取組

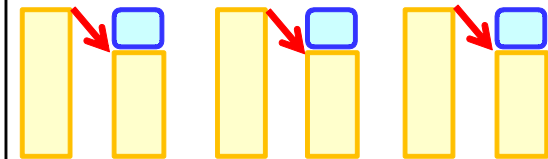
★ハード事業の適切な選択による市債発行の抑制

財政運営の基本原則

具体的な取組 ≪基本原則①≫

経常経費の見直しを、
継続的に実施！！

『継続的事业』のあるべき姿
《ビルド&スクラップ》



■ 新規・拡充「継続的事业」

■ 既存「継続的事业」

F₁ 経常事业の見直し
(H28:▲2億、H29:▲9億/年、H30以降:▲2億/年)

F	中長期財政見通し	(単位: 億円)								
		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度
F ₁	経常事业の見直し(累積額)	▲ 2	▲ 11	▲ 13	▲ 15	▲ 17	▲ 19	▲ 21	▲ 23	▲ 25

H27: 政策事业の経常化5億円、子育て新制度・国保繰出金の経常化4億円増により
合計9億円の見直しが必要！

⇒ H28: 2億円の見直し

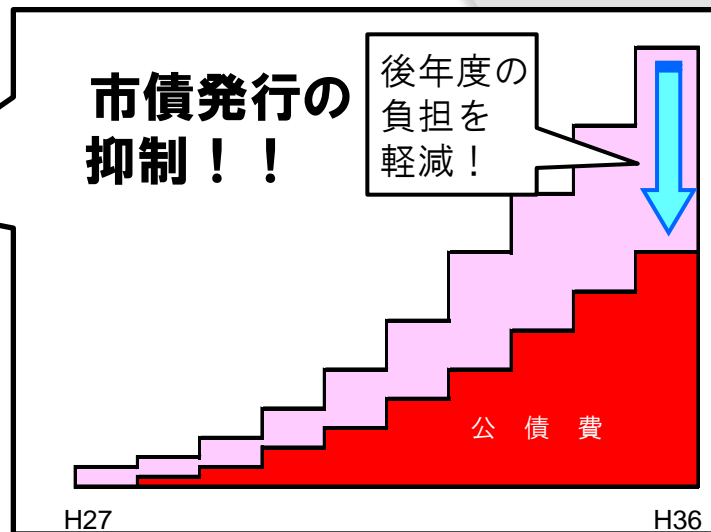
H29: 9億円(7億円 + 政策事业の経常化2億円)の見直し

財政運営の基本原則

具体的な取組 ≪基本原則②≫

F₂ ハード事業の適切な選択

	事業費	市負担
H27～H29:	▲10億円	▲3億円
H30以降	:▲8億円	▲2億円



(単位: 億円)

中長期財政見通し	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度
F ₂ ハード事業の適切な選択	▲3	▲3	▲2	▲2	▲2	▲2	▲2	▲2	▲2

F₃ 起債抑制に伴う公債費の減

(起債) H27～H29:	▲6億円
H30以降	:▲5億円
(公債費) H32以降	:▲1～3億円

F ₃ 起債抑制に伴う公債費の減					▲1	▲1	▲2	▲2	▲3
-----------------------------	--	--	--	--	----	----	----	----	----

取組後の財政収支見通し

(単位: 億円)

E	中長期財政見通し	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度
E	総収支 (A-B-C-D)	▲ 1	▲ 11	▲ 15	▲ 14	▲ 19	▲ 22	▲ 25	▲ 27	▲ 29

取組の実践

(単位: 億円)

F	中長期財政見通し	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度
F ₁	経常事業の見直し(累積額) (H28 ▲2億円 H29 ▲9億円 H30~ ▲2億円)	▲ 2	▲ 11	▲ 13	▲ 15	▲ 17	▲ 19	▲ 21	▲ 23	▲ 25
F ₂	ハード事業の適切な選択 (事業費 市負担 H27~H29: ▲10億円 ▲3億円 H30以降 : ▲8億円 ▲2億円)	▲ 3	▲ 3	▲ 2	▲ 2	▲ 2	▲ 2	▲ 2	▲ 2	▲ 2
F ₃	起債抑制に伴う公債費の減 (起債) H27~H29: ▲6億円 H30以降 : ▲5億円 (公債費) H32以降: ▲1~3億円)					▲ 1	▲ 1	▲ 2	▲ 2	▲ 3
F	取組効果 合計	▲ 5	▲ 14	▲ 15	▲ 17	▲ 20	▲ 22	▲ 25	▲ 27	▲ 30

取組の結果

(単位: 億円)

G	中長期財政見通し	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度
G	最終収支 (E-F)	4	3	0	3	1	0	0	0	1

健全な財政運営の実践により
収支不足を解消!!

財源不足の解消には・・・
ビルド&スクラップの実践
による**経常事業の見直し**と
ハード事業の適切な選択に
よる**市債発行の抑制**
の**取組みが必要なんだ!!**
これにより、将来にわたり
行政の使命を果たしていくんだ。



3 平成28年度 予算編成の取組み

総合計画の実現に向けた施策の推進と、
健全財政の確保！！

予算編成の基本的な考え方

平成28年度は、

「総合計画の実現に向けた施策の推進と健全財政の確保」

に留意した予算を編成！！

① 総合計画の実現に向けた施策の推進

- ・「安全で安心、健やかな市民生活」を基本に「今」必要とされる市民サービスを充実
- ・「将来」の活力あるまちの創造につながる主要プロジェクト事業等の円滑な推進

② 健全財政の確保

- ・「ビルド&スクラップの実践」と「ハード事業の適切な選択による市債発行の抑制」

予算編成の手法

《骨格予算への対応》

～市長の改選時期にあたる予算要求～

- ・ 義務的経費や経常的経費、継続費や債務負担行為の設定事業等については、「骨格予算」として当初予算で計上
- ・ 実施計画対象事業等の政策的経費については、「肉付予算」として6月補正で計上

※ただし、従前から実施し間断なく実施しなければならない事業、法令等の制約に基づき、当初から実施しなければならない事業は除く

予算要求は
どっちもしてね！



予算編成の手法

《経常経費の見直しで政策事業財源を確保》

～見直し目標額2億円の達成～

[単位：億円]



スクラップの実践で見直し目標額を達成し、政策財源33億円の確保をせなあかんで！



市債発行限度額
31

【スクラップ】
見直し目標額を
各部へ配分

2億円
事業見直し

政策財源 33 <一般財源ベース>

ハード
17

ソフト
6

基金
6

活用枠
4

政策事業 29

【活用枠4億円】

6月補正予算における政策事業
及び市債発行の抑制等に活用

部内で協力し合って、必ず目標額を達成するのだ！！



行政の使命

「今」必要な
市民サービスの
充実

「将来」の
活力ある
まちの発展

「財政の健全性」の確保

そのため
には…

メリハリある

ビルド

&

スクラップ

新たなサービスを行うために

既存のサービスを見直す！！

ハード事業の適切な選択！！

市民にしっかりと
説明できる
取組み！！



総合計画の実現に向け、
もっと市民サービスの
充実を！！

限りあるお金（財源）の中で
ビルドするには、その分
スクラップが必要やで！！



行政の使命は将来にわたる市民サービスの
充実なんだ。
でも、「健全な財政」でなければその使命は
果たせないんだ！

総合計画の実現に向けて施策を推進するためには、
ビルド&スクラップの実践により、
財政の健全性の確保に努めることが大切だね！



いばらきの今と未来をまもるため



いばら騎士 社!